

学力検査問題〔日本史〕(その1)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

1 次の文章を読んで、(1)～(8)の問いに答えよ。

歴史の各時代における貨幣のあり方は、経済問題にとどまらず広く政治体制や社会の仕組みなどとかかわっている。

大化改新をへて中央集権的政治体制をめざしていた大和朝廷は、7世紀末に確認される最初の鑄造貨幣である **ア** を作ったことが近年の発掘調査からわかってきている。さらに8世紀に入ると武蔵国から銅が献上されてきたことをきっかけに年号を改め、新しい貨幣である **イ** を鑄造した。貨幣は造営中であった都の役夫に支給されたり造営費用そのものにあてられたが、広範囲に流通することはなかった。朝廷は **ウ** を出して流通の拡大をはかったが効果はなかったと考えられている。それでも貨幣の鑄造はやむことがなく、①10世紀半ばまでに「皇朝十二銭」と呼ばれる貨幣が発行されたが、その後中断することとなった。

12世紀の半ば、平氏が政権を掌握すると②中国との貿易に力を入れるようになり、その輸入品として中国の貨幣(宋銭)が持ち込まれ、国内で流通するようになった。荘園の年貢が貨幣で納められるようになったり、金融機関である借上が登場し高利貸業者を営むようになった。このように輸入貨幣を国内で流通させるやり方は、鎌倉幕府、室町幕府の時代でも引き続きおこなわれた。特に15世紀初めからの日明貿易では、③その主要な輸入品として貨幣(明銭)が日本に持ち込まれ、貨幣の流通はさらに広がった。室町幕府は多くの税を銭で納めさせ、貨幣経済は社会全体に定着していった。しかし、需要の増大とともに質の悪い私鑄銭も流通するようになり、実際の取引では悪銭を嫌い良銭を選ぶ **エ** がおこなわれ混乱が生じた。そのため、幕府や戦国大名はたびたび銭の流通を管理する命令を出さなければならなかった。

豊臣秀吉が全国統一後、金貨である天正大判などを鑄造させ、再び貨幣が国内で発行されることとなった。続いて江戸幕府は、金・銀・銭という **オ** の鑄造をおこない、商品経済の大規模な発展を支えた。そのうち、金と銭は計数貨幣であったが、銀は重さを量って取引される **カ** であった。また、④東日本と西日本では取引や貨幣計算の中心となる貨幣が異なったこともあり、**オ** の交換や重さを量ることを商売とする **キ** が重要となり、有力なものは幕府や藩の公金の出納にも関わった。さらに、⑤金はその時々の幕府の経済状況に応じて何度も改鑄され、そのたびに市中の取引は混乱した。

明治維新後、新政府は欧米諸国にならって金本位制の確立と貨幣制度の統一をはかるために、まず1871年に **ク** を定めた。さらに、⑥アメリカの制度にならった国立銀行を民間の資本で設立させ、**ケ** の発行と流通を目指したが、当初の目的に沿った銀行の設立はわずか4行にとどまり、新しい貨幣制度の確立は順調に進まなかった。事態が安定したのは、⑦維新当時に大量に発行された不換紙幣の整理がすすみ、中央銀行として **コ** が設立され銀兌換の銀行券が発行されてからであった。

(1) 文中の空欄 **ア** ～ **コ** に入る適切な語を次の語群から選び、それぞれ記せ。

|      |       |      |      |       |     |
|------|-------|------|------|-------|-----|
| 《語群》 | 蓄銭叙位令 | 為替   | 秤量貨幣 | 兌換銀行券 | 撰銭  |
|      | びた銭   | 富本銭  | 日本銀行 | 太政官札  | 三貨  |
|      | 現物貨幣  | 和同開珎 | 問屋   | 新貨条例  | 両替商 |

(2) 下線部①について、これらの貨幣の最後となった「乾元大宝」が鑄造されたころの政治状況について述べた文として適切なものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A 律令制のゆきづまりに対応するため、追加法令や施行細則をまとめた弘仁格式が編纂された。
- B 藤原氏北家の藤原良房が臣下で初めて摂政となり、その後の摂関政治全盛の先駆けとなった。
- C 醍醐天皇・村上天皇による律令体制の復興がめざされ、のちに「延喜・天曆の治」と呼ばれた。
- D 藤原氏北家と外戚関係のない後三条天皇の命令により、徹底した荘園整理がおこなわれた。

(3) 下線部②について、この時貿易のため大規模な修築をおこなった摂津国の港は何か。

(4) 下線部③について、この時期中国から輸入され流通した貨幣(明銭)として適切でないものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A 洪武通宝      B 永楽通宝      C 寛永通宝      D 宣徳通宝

学力検査問題〔日本史〕(その2)

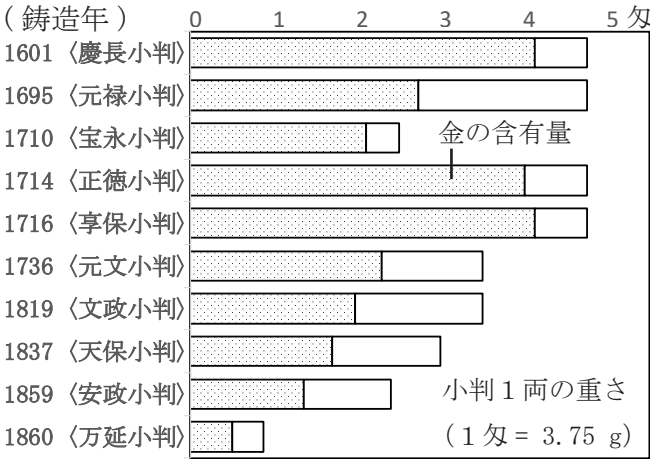
解答はすべて解答用紙に記入せよ。

- (5) 下線部④について、この状態に関連して述べた文として適切なものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。
- A 東日本では主に金貨中心の金遣い、西日本では主に銀貨が中心の銀遣いであった。
  - B 東日本では高額の大判が日常的に使われ、西日本ではそれより少額の小判の使用が一般的であった。
  - C 金貨と銀貨の交換を容易にするために、老中松平定信により計数銀貨の南鐐二朱銀が鑄造された。
  - D 江戸時代中期には金遣いの経済圏が東日本から西日本にも拡大し、銀貨の流通は激減した。

- (6) 下線部⑤について、右のグラフは江戸幕府が改鑄をおこなった小判の金の含有量を示したものである。こうした改鑄された貨幣と、それがおこなわれた事情を説明した文(ア,イ)の正誤の組み合わせとして適切なものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- ア 元禄小判：幕府の財政難を解消するため、勘定吟味役荻原重秀の上申により金の含有率をおよそ3割落とした小判の改鑄がおこなった。
- イ <sup>まんえん</sup>万延小判：日本と外国における金銀の交換比率が大きく異なっていたことから、金が外国に大量に流出する事態となったためそれを防ぐ目的の改鑄がおこなわれた。

- A ア…正 イ…誤      B ア…誤 イ…正
- C ア…正 イ…正      D ア…誤 イ…誤



『日本通貨変遷図鑑』より

- (7) 下線部⑥について、この銀行の設立に中心的役割を果たした人物は誰か。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。
- A 渋沢栄一      B 福沢諭吉      C 岩倉具視      D 大久保利通

- (8) 下線部⑦について、この紙幣整理に関して述べた文として**適切でない**ものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。
- A 明治維新以来、戊辰戦争や西南戦争の戦費として多額の不換紙幣が発行され、その回収は通貨安定の第一歩であった。
  - B 大蔵卿の大隈重信は、赤字経営の官営工場を払い下げる方針を示し、財政整理に着手した。
  - C 明治十四年の政変後大蔵卿となった松方正義は、増税による紙幣の回収と歳出の削減をはかった。
  - D 初めて内閣を組閣した伊藤博文は、高い金利で銀行へ預金を呼び込み紙幣の回収をすすめた。

学力検査問題〔日本史〕(その3)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

2 次の文章と史料を読んで、(1)～(6)の問いに答えよ。

1192 年、**ア** は征夷大將軍となり、名実ともに鎌倉幕府が成立した。しかし、その政治力はまだ限定的で、鎌倉におかれた政務をあつかう **イ** や訴訟事務を担当する **ウ** など幕府側近による小規模なものであって、力のおよぶ範囲も東国が中心であった。それが大きく転換するのは、3 代將軍 **エ** の暗殺をきっかけに幕府と朝廷とが軍事的衝突をした **オ** で幕府方が圧勝してからである。幕府の実権を握った執権の **カ** は、その補佐役として **キ** をおくとともに、武家としては初めての成文法である①御成敗式目を制定し、公平な裁判の基準を確立した。また、②惣領制と呼ばれる御家人一族のまとまりが形成され、武家社会は 13 世紀半ばには安定してきた。

しかし、13 世紀後半に二度にわたって蒙古の襲来を受け、幕府の支配は大きな影響を受けることとなった。それは、幕府の支配権が全国的に強化されるとともに、執権を世襲してきた北条氏の中でも家督を継ぐ **ク** の勢力も強大になった。一方で、蒙古との戦いに動員された御家人たちは十分な恩賞をえることができず、困窮するものが少なくなかった。なかには所領を失うものもあられ、③幕府は一定の条件のもとで失った土地を取り戻すことができる永仁の徳政令を發布したが、効果は一時的であった。こうして鎌倉幕府は徐々に衰退に向かった。

一方その頃朝廷では、大覚寺統から即位した **ケ** が親政を開始し、幕府の動きも見ながらひそかに討幕の計画をたてていた。④その計画は事前に幕府の知るところとなるなどして二度とも失敗したが、御家人たちのなかには **ケ** に呼応して幕府に反旗をひるがえすものもあられ、有力御家人の **コ** が京都の六波羅探題を攻め落とすなどして、鎌倉幕府を滅亡させた。かわって政権を握った **ケ** は、⑤天皇への権限の集中をはかって建武の新政をはじめた。しかし、この新政は武士の不満と抵抗を引き起こすこととなり、わずか 3 年で崩壊した。

(1) 文中の空欄 **ア** ～ **コ** に入る適切な語を次の語群から選び、それぞれ記せ。

- |      |       |      |       |      |     |      |
|------|-------|------|-------|------|-----|------|
| 《語群》 | 後醍醐天皇 | 源頼家  | 雑訴決断所 | 得宗   | 問注所 | 源実朝  |
|      | 政所    | 承久の乱 | 北条泰時  | 北条時宗 | 源頼朝 | 足利高氏 |
|      | 平治の乱  | 連署   | 光厳天皇  | 楠木正成 |     |      |

(2) 右の史料は下線部①の条文と制定の経緯を述べた手紙の一部である。この史料についての問いに答えよ。

- ( i ) 史料中の傍線部 a は守護の職務を示したものであるが、これを何と呼ぶか。5 文字の用語で答えよ。
- ( ii ) 御成敗式目の条文の根拠として史料に記されていることを、20 字以内で簡潔に答えよ。

(史料)  
御成敗式目  
一 諸国守護人奉行の事  
右、右大將家の御時定め置かるる所は、  
大番催促・謀叛・殺害人<sup>a</sup>  
なり。  
北条泰時書状  
さてこの式目をつくられ候事は、なにを本  
説として注し載せらるゝの由、人さだめて謗  
(ぼう)難(なん)を加ふる事候か。ま事に  
させる本文にすがりたる事候はねども、たゞ  
どうりのおすところを記され候者也。  
(中略) 武家の人へのはからひのためばかり  
に候。

(3) 下線部②について、この惣領制を説明した文として適切でないものはどれか。次の A～D から 1 つ選び、記号で記せ。

- A 御家人は血縁をもとに結びついており、共通の先祖の祭や氏神の祭祀は惣領の重要な仕事であった。
- B 幕府に対する軍役負担や荘園領主などへの年貢納入は惣領の責任でおこなわれた。
- C 惣領の地位は長子が相続するとは限らず、一族を統率できる力量を持つものが選ばれた。
- D 荘園などの所領は惣領がまとめて相続する単独相続で、一族の経済は惣領に依存した。

## 学力検査問題〔日本史〕(その4)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

(4) 下線部③について、この徳政令を説明した文の正誤の組み合わせとして適切なものはどれか。次のA～Fから1つ選び、記号で記せ。

- ア 御家人が一般人に売却した所領は、売却からの年数に関係なく無償で取り戻させた。  
イ 御家人に対し、所領の質入れや売買には幕府の許可が必要とした。  
ウ 御家人が関係する金銭の訴訟は今後幕府として受け付けないこととした。

- |   |     |     |     |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|
| A | ア…正 | イ…正 | ウ…正 | B | ア…正 | イ…正 | ウ…誤 |
| C | ア…正 | イ…誤 | ウ…正 | D | ア…誤 | イ…正 | ウ…正 |
| E | ア…誤 | イ…誤 | ウ…正 | F | ア…誤 | イ…正 | ウ…誤 |

(5) 下線部④について、このうち二度目の討幕計画事件は何か。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A 正中の変    B 承和の変    C 乙巳<sup>いつし</sup>の変    D 元弘の変

(6) 下線部⑤について、この新政の様子を述べた文として**適切でない**ものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A 所領の所有権の確認は全て天皇の綸旨によることとしたため、事務が膨大となって手続きが停滞し混乱が生じた。  
B 討幕に功績のあった有力御家人新田義貞が鎌倉將軍府の別当となり、関東地方は独自の支配を認められた。  
C 京都の御所に近い二条河原に、この新政を風刺・批判する落書<sup>らくしよ</sup>がかかげられるなど、その混乱ぶりは誰の目にも明らかだった。  
D 新政の機構は旧幕府に似た簡素なもので、そこでは多数の武士が政務を担った。



学力検査問題〔日本史〕(その5)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

3 次の文章を読んで、(1)～(5)の問いに答えよ。

明治新政府にとって、産業の近代化は待ったなしの課題であった。1870年には **ア** が設置され、これが中心となって鉄道の経営や鉱山の開発を官営事業として取り組んだ。さらに製糸・紡績などでは官営模範工場が建てられて、フランスなどの先進的技術が導入された。

1880年代後半にはいと経済も安定し産業界が活気づいた。**イ** と呼ばれる民間会社の設立ブームが起こり、機械技術を本格的に用いる産業革命が日本でも始まった。①その中心は綿糸を生産する紡績業であったが、モデルとなったのが1万鍾規模の機械を導入して成功した **ウ** であった。また、綿織物業、絹織物業ともに、**エ** らの考案による国産力織機が普及し生産量が増大した。

軽工業から始まった日本の産業革命は、日清戦争を機に重工業の分野におよぶようになった。とりわけ、工業の基礎となる鉄鋼の国産化が急がれ、1901年には官営の **オ** が操業を開始し日露戦争ころには生産を軌道に乗せた。さらに民間でも製鋼会社の設立がすすんだほか、②機械製造やエネルギー、物流の分野でも進歩が見られた。しかし貿易赤字がふくらむなど、発展は必ずしも順調ではなかった。

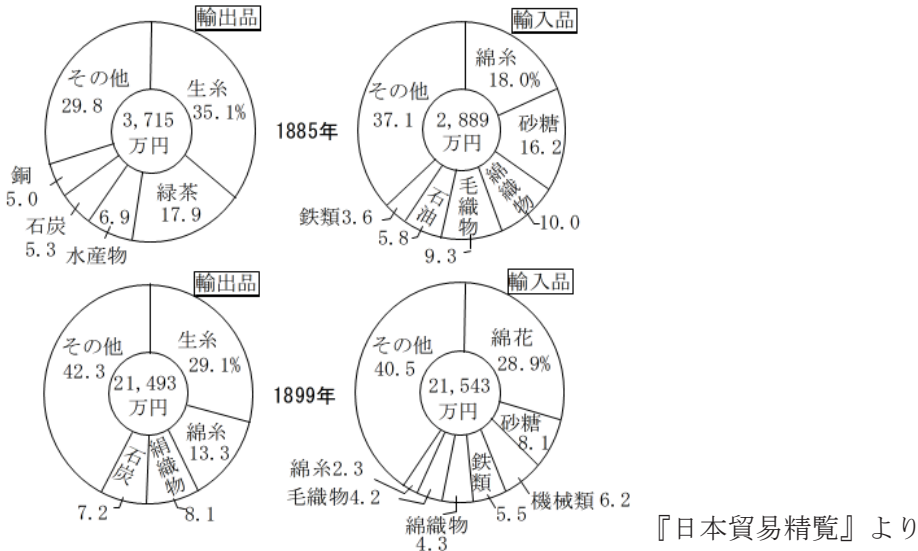
1914年に第一次世界大戦が始まると日本経済は一気に活性化した。世界的な船舶不足の中、海運業・造船業は空前の好況となって急成長するものがあられ、いわゆる **カ** が続々と誕生した。また、③新たな事業分野でも企業の設立があいつぎ、全体としての工業生産額が農業生産額を上回るまでになった。

しかし、この **キ** と呼ばれる好況の底は浅く、戦争が終結するとまもなく経済は苦境に陥った。そこへ追い打ちをかけたのが、1923年に首都を襲った関東大震災であった。この災害で決済ができなくなったいわゆる震災手形を金融機関が大量にかかえ込むこととなり、4年後の **ク** の引き金となり、銀行の経営に不安をいだいた預金者が預金の払い出しを求めて窓口に殺到した。この事態に新たに成立した田中義一内閣は【 I 】、当面の危機を乗りきった。ただ、第一次世界大戦以来続く金輸出禁止の影響で貿易の拡大がすすまず、財界からは **ケ** を望む声が強くなっていった。

(1) 文中の空欄 **ア** ～ **ケ** に入る適切な語を次の語群から選び、それぞれ記せ。

- 《語群》
- |      |       |        |       |        |
|------|-------|--------|-------|--------|
| 企業勃興 | 金輸出解禁 | 東洋紡績会社 | 八幡製鉄所 | 大阪紡績会社 |
| 豊田佐吉 | 新日本製鉄 | 工部省    | 大戦景気  | 船成金    |
| 内務省  | 神武景気  | 金融恐慌   | 財閥    |        |

(2) 下線部①について、下のグラフは1885年と1899年の日本の輸出入品の品目ごとの比率をあらわしたものである。グラフからこの期間に紡績業に起こっていたどのような変化がわかるか、簡潔に記せ。



(3) 下線部②について、こうした進歩について述べた文として適切なものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A 工作機械の分野で、池貝鉄工所が高い精度の旋盤を国産化することに成功した。
- B 水力発電が注目され、群馬県の利根川上流で発電された電気が東京に送られた。
- C 日清戦争後の造船奨励策で三菱横須賀造船所などが大型船の建造で成果を上げた。
- D 物流のための鉄道建設は、当初から全て官営で進められたが、この時期にピークを迎えた。

## 学力検査問題〔日本史〕(その6)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

(4) 下線部③について、こうした状況に関して述べた文として**適切でない**ものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A 繊維産業では輸出の拡大におされ、中国で工場経営をする在華紡が増加した。
- B 工場の増加で労働者の数も増え、大戦前の1.5倍となった。
- C 交戦国ドイツからの輸入が途絶えた東南アジアなどに向け、薬品や肥料などの化学工業がおこった。
- D 交戦国からの兵器の需要が急増し、軍需産業が一大産業として成立した。

(5) 空欄【 I 】に入れる短文として適切なものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A 全ての預金口座について、引き出すこのできる金額を限定して対応し
- B 3週間のモラトリアムを発し、その間に日銀から銀行への救済融資をおこなって
- C 預金保護令を出して預金者の急な払い出しをおさえ
- D 金融機関を臨時休業させ、その間に中小銀行と大手銀行との経営統合を進めさせ

1

|     |   |  |     |  |   |     |  |  |     |  |  |  |
|-----|---|--|-----|--|---|-----|--|--|-----|--|--|--|
| (1) | ア |  |     |  | イ |     |  |  | ウ   |  |  |  |
|     | エ |  |     |  | オ |     |  |  | カ   |  |  |  |
|     | キ |  |     |  | ク |     |  |  | ケ   |  |  |  |
|     | コ |  |     |  |   |     |  |  |     |  |  |  |
| (2) |   |  | (3) |  |   | (4) |  |  | (5) |  |  |  |
| (6) |   |  | (7) |  |   | (8) |  |  |     |  |  |  |

2

|     |     |  |     |      |   |     |  |  |     |  |  |  |
|-----|-----|--|-----|------|---|-----|--|--|-----|--|--|--|
| (1) | ア   |  |     |      | イ |     |  |  | ウ   |  |  |  |
|     | エ   |  |     |      | オ |     |  |  | カ   |  |  |  |
|     | キ   |  |     |      | ク |     |  |  | ケ   |  |  |  |
|     | コ   |  |     |      |   |     |  |  |     |  |  |  |
| (2) | (i) |  |     | (ii) |   |     |  |  |     |  |  |  |
| (3) |     |  | (4) |      |   | (5) |  |  | (6) |  |  |  |

3

|     |   |  |     |  |   |     |  |  |   |  |  |  |
|-----|---|--|-----|--|---|-----|--|--|---|--|--|--|
| (1) | ア |  |     |  | イ |     |  |  | ウ |  |  |  |
|     | エ |  |     |  | オ |     |  |  | カ |  |  |  |
|     | キ |  |     |  | ク |     |  |  | ケ |  |  |  |
| (2) |   |  |     |  |   |     |  |  |   |  |  |  |
| (3) |   |  | (4) |  |   | (5) |  |  |   |  |  |  |

|     |     |   |      |     |      |      |     |   |       |     |   |
|-----|-----|---|------|-----|------|------|-----|---|-------|-----|---|
| 1   | (1) | ア | 富本銭  |     | イ    | 和同開珎 |     | ウ | 蓄銭叙位令 |     |   |
|     |     | エ | 撰銭   |     | オ    | 三貨   |     | カ | 秤量貨幣  |     |   |
|     |     | キ | 両替商  |     | ク    | 新貨条例 |     | ケ | 兌換銀行券 |     |   |
|     |     | コ | 日本銀行 |     |      |      |     |   |       |     |   |
|     | (2) | C |      | (3) | 大輪田泊 |      | (4) | C |       | (5) | A |
| (6) | C   |   | (7)  | A   |      | (8)  | D   |   |       |     |   |

|   |     |   |      |   |      |   |       |
|---|-----|---|------|---|------|---|-------|
| 2 | (1) | ア | 源頼朝  | イ | 政所   | ウ | 問注所   |
|   |     | エ | 源実朝  | オ | 承久の乱 | カ | 北条泰時  |
|   |     | キ | 連署   | ク | 得宗   | ケ | 後醍醐天皇 |
|   |     | コ | 足利高氏 |   |      |   |       |

|     |     |       |     |      |                 |     |   |  |     |   |  |
|-----|-----|-------|-----|------|-----------------|-----|---|--|-----|---|--|
| (2) | (i) | 大犯三カ条 |     | (ii) | 頼朝以来の先例と武家社会の慣習 |     |   |  |     |   |  |
| (3) | D   |       | (4) | C    |                 | (5) | D |  | (6) | B |  |

3

|     |                                                              |      |   |       |   |        |
|-----|--------------------------------------------------------------|------|---|-------|---|--------|
| (1) | ア                                                            | 工部省  | イ | 企業勃興  | ウ | 大阪紡績会社 |
|     | エ                                                            | 豊田佐吉 | オ | 八幡製鉄所 | カ | 船成金    |
|     | キ                                                            | 大戦景気 | ク | 金融恐慌  | ケ | 金輸出解禁  |
| (2) | 大規模な紡績工場が作られ生産力が上がったため、製品の綿糸を輸入する状況から原料の綿花を輸入し綿糸を輸出するようになった。 |      |   |       |   |        |
| (3) | A                                                            | (4)  | D | (5)   | B |        |